

## 24. アルストロメリア

・殺虫剤（参考農薬）

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
7	ラノーテープ	作物体の付近に設置する	栽培期間中	1回	花き類・観葉植物（施設栽培）

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

注3) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
ウイルス性病 害 (V)	生育期間	<ol style="list-style-type: none"> <li>ウイルス感染苗による伝播は広範囲に及ぶため、無病苗を用いるようにする。</li> <li>アブラムシ類防除のため定期的に殺虫剤を散布する。</li> <li>ハウスの開口部を、防虫ネット(0.8mm目合い)で被覆する。</li> <li>ハウス周辺の雑草は伝染源になるので定期的に除草する。</li> <li>罹病株から順次二次伝染が起こるので、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>病原ウイルスに、CMV、ALMV及びBBWVなどが知られているが、長野県内の主要なウイルスはALMVである。また、これらウイルスは全てアブラムシ類により媒介される。</li> <li>これらウイルスの重複感染により病徴が激しく現れるので、アブラムシ類の防除を徹底する。</li> </ol>
黄化えそ病 (TSWV)	植付前	<ol style="list-style-type: none"> <li>無病苗を使用する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>病原ウイルスは、いずれもアザミウマ類により伝搬される。</li> <li>これらのウイルスには簡易診断キットが市販されている。それらを用いて診断可能である。</li> </ol>
条えそ病 (IYSV) (V)	生育期間	<ol style="list-style-type: none"> <li>ウイルス感染苗による伝播は広範囲に及ぶため、無病苗を用いるようにする。</li> <li>アザミウマ類の飛来・増殖を徹底的に阻止する。ハウスの開口部を防虫ネット(0.4mm目合い)で被覆すると、侵入を軽減できる。また、「25.花き類・観葉植物」の項を参考に、殺虫剤を定期的に散布する。</li> <li>ハウス周辺の雑草は伝染源になるので定期的に除草する。</li> <li>罹病株から順次二次伝染が起こるので、発病株は早期に抜き取り、ほ場外に埋却する。</li> </ol>	
灰色かび病 (F)	生育期間	<ol style="list-style-type: none"> <li>施設内が過湿にならないよう換気を図り、密植を避ける。</li> <li>株元の枯死葉は伝染源になるので除去する。</li> <li>発病を見たら、直ちに罹病部を除去する。</li> </ol>	
オンシツ コナジラミ	生育期間 (施設栽培)	<ol style="list-style-type: none"> <li>施設の開口部を防虫ネット(0.4mm目合い)で被覆する。</li> <li>黄色粘着トラップを設置して成虫の発生消長を把握する。</li> <li>ラノーテープを10a当り50㎡(幅5cm×200mを5本)の割合で設置する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ラノーは、蚕毒に特に注意する（特別指導事項参照）。</li> <li>ラノーの使用方法和注意事項については、「ラノーテープの使用方法和注意事項」を参照。</li> </ol>

### ラノーテープの使用方法と注意事項

ラノーテープは、IGR剤のピリプロキシフェンを含有する黄色テープである。黄色に誘引されテープに接触したコナジラミ類雌成虫は死亡しないが、産んだ卵は孵化が阻害される。その結果、次世代のコナジラミ類の増殖が抑制される。

#### (1)使用方法

定植後、オンシツコナジラミの発生初期に10a 当り 50 m<sup>2</sup>(幅 5 cm×200m を 5 本)を設置する。畦に沿って直上部に横断幕のように設置し、アルストロメリアの生長に合わせて高さを順次上げる。

#### (2)使用上の留意点

ア 施設栽培アルストロメリアでの使用に限る。

イ 使用後に資材(使用済みテープ、巻き芯、空き袋、設置に使用した手袋等)の回収を行うため、地域ごとにまとめて使用することが望ましい。

ウ 使用に際しては、地域で開催されるラノーテープ説明会に出席し、使用についての覚え書に署名、捺印する。

エ 1年の内のある作型に限って使用し、設置期間は最長でも6か月以内とする。

オ タバココナジラミバイオタイプQには効果が劣るので注意する。

カ 蚕に対して長期間強い毒性があり使用地域の制限(IGR剤指定地域かつ桑園から1km以上離れた地域)があるので、これ以外では使用しない。

キ 養蚕または桑生産を行っている生産者は使用しない。